

食肉衛生検査所で『職場体験学習』を開催しました！

平成27年度から実施している児童の職場体験学習も今年で5回目となりました。

今年も、花輪北小学校と十和田小学校から計6名の5年生・6年生が参加してくれましたので、その概要を紹介します。

1 趣 旨

この職場体験学習は、鹿角市が市教育委員会を窓口として取り組んでいる夢探求プロジェクトの「夢たん」事業と連携し、社会的・職業的に自立し、将来、鹿角市を支えていこうとする子どもを育てることを目的に、食肉衛生検査所の業務を紹介することで、食の安全・安心の確保に携わる獣医師（と畜検査員）の仕事を体験してもらうものです。

2 日 時 : 令和元年8月1日（木） 10:00～12:00

3 場 所 : 食肉衛生検査所 研修室及び試験検査室

4 体験メニュー : (1) 食肉衛生検査所の仕事紹介（説明）
(2) 検査してみよう！実験してみよう！（体験学習）

当日は、食肉衛生検査所長のあいさつから始まりました。

獣医師が全国に約3万9千人おり、このうち約43%が臨床に携わっていること、約24%が公務員獣医師として食肉衛生検査所や保健所、家畜保健衛生所などに務めていることなど、また、ここで体験したことに興味を持ち、将来、獣医師となって自分たちの仲間に加わってくれたらうれしいとの話がありました。



続いて、管理・業務班長から食肉衛生検査所の仕事について説明がありました。



病気の家畜のお肉を食べて人が病気になったりしないように検査を行っている



ことや、お肉を安全に食べるために十分に火を通すことが大切との話がありました。

その後、白衣に着替え、試験検査室に移動して、細菌、病理、理化学の順に各担当検査員の説明を受けながらそれぞれの検査を実際に体験していただきました。

【細菌検査】



細菌の形態、増殖などを解説した後、コロニーカウントや釣菌、染色、細菌の観察を体験していただきました。



(スライドガラスの扱いに悪戦苦闘)

コロニーカウントでは、豚肉を拭き取った検体から選択培地に発育した細菌集落をそれぞれ数えてもらいました。

また、スライドガラス上に固定した細菌のグラム染色を体験していただきました。

染色後は、顕微鏡で細菌の染色性（染まり具合）や形態などを観察していただきました。

【病理検査】



病理検査の目的や検査の主体である組織標本の作成方法を解説。

組織標本（プレパレート：スライドガラスに試料を載せ顕微鏡で観察できるようにしたもの）を作るための臓器の固定、包埋（標本ブロック作成）、マイクロームによる薄切～染色の流れや使用する機器を説明。

組織標本の見方を解説。

腎臓腫瘍の組織標本を使い、顕微鏡に接続したモニターを見ながら腎臓の構造や正常部分と腫瘍部分との違いを説明。





(皆さんの真剣な眼差しが印象的)

【理化学検査】



「黄疸」について解説した後、その原因となるビリルビンという成分の尿からの検出を模した実験を行いました。

2種類の液体を検体としてウロペーパー試験紙を使用した物質確認（色の変化）を体験していただきました。



(緊張しながらも各自真剣に体験)

最後に、参加者全員で記念撮影です。



(お疲れ様でした)

★★ 体験者の感想 ★★

- 初めてわかったことがたくさんあった。
- 学校で学べなかったことを学ぶことができた。
- 食肉について知らなかったことを勉強できた。
- 来年も勉強のために検査所に来たい。